

衆議院外務委員会ニュース

平成 29. 3. 15 第 193 回国会第 4 号

3月15日(水)、第4回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、若宮防衛副大臣、武井外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

小 熊 慎 司君 (民進)

- ・我が党は南スーダンPKOに派遣されている自衛隊施設部隊の早期撤収を主張しているが、政府が今になって自衛隊を撤収させる決定を行った理由と、これまで活動を継続させてきた理由は何か。
- ・政府が国際組織犯罪防止条約の担保法として国会提出を検討している組織的犯罪処罰法改正案では、対象犯罪を組織的な犯罪集団が関与するものに限定しようとしているが、政府が過去に提出した法案においては、なぜ同様の限定ができなかったのか。
- ・東日本大震災及び福島原発事故以来、東アジア諸国、とりわけ中国がいまだに続けている福島県産品等への輸入規制の緩和・撤廃のために、政府は今後どのような取組を行っていくのか。

渡 辺 周君 (民進)

- ・中国は東日本大震災追悼式典に2013年以降欠席しているが、政府はその理由を把握しているのか。
- ・東日本大震災に際して我が国は中国からどのような支援を受け、また、四川大地震(2008年)に際し我が国はどのような支援を行ったのか。
- ・政府は、2018年の東日本大震災追悼式典には是非出席してほしい旨の要請を中国側に行うべきではないのか。

中 川 正 春君 (民進)

- ・北朝鮮の核ミサイル問題への対応の一つのオプションとして、米国は北朝鮮との直接対話を検討しているとされるが、このオプションに対する岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・日韓合意の履行について、韓国政府は努力しているにもかかわらず、韓国国民が納得していないという状況にある中で、駐韓大使を一時帰国させたことは、間違った判断であり、駐韓大使を早急に帰任させ、韓国政府と協力して韓国国民の理解を促すべきであると考えているが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

- ・我が国の法律などを戦略的に多言語化して海外に発信するシステムを構築すべきであると考えているが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

笠 井 亮君 (共産)

- ・南スーダンPKOに派遣されている自衛隊施設部隊の活動終了の決定については、2016年9月のどの会議において検討されたのか。
- ・施設部隊第10次要員が派遣された2016年6月の時点で、自衛隊は既に治安悪化による緊急撤収の可能性を想定していたのではないのか。
- ・施設部隊の活動終了に向けた検討が2016年9月に開始されていたにもかかわらず、同年10月に同部隊の活動期間の延長が閣議決定されたことは、平和安全法制に基づく実績作りのためではないのか。

足 立 康 史君 (維新)

- ・民主党政権下において、それ以前の自民政権下で民主党が反対した安全保障関連法を廃止・修正した事例は何件あるか。

玉 城 デニー君 (自由)

- ・2017年2月の日米首脳会談において、2016年12月に名護市沖合で発生したMV22 オスプレイ墜落事故に関してどのようなやり取りが行われたのか。
- ・沖縄県における米軍基地負担軽減のために普天間飛行場の運用停止を辺野古移設に先立って行ってほしいという沖縄県民の願いを岸田外務大臣はどのように受け止めているのか。
- ・米国国防省は、2017年3月13日、CV22 オスプレイの米軍横田基地等への配備開始が最長3年遅れる旨の発表を行ったが、この件に関する岸田外務大臣への報告は、いつ、どのように行われたのか。

- 2 日本国の自衛隊とアメリカ合衆国軍隊との間における後方支援、物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（第192回国会条約第2号）
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とオーストラリア政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第2号）
- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。